

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「米国マイクロキャップ株式ファンド」は、このたび、第1期の決算を行いました。

当ファンドは、米国マイクロキャップ株式マザーファンドを通じて、米国（一部カナダを含む場合があります。）の上場株式（これに準ずるものを含みます。）のうち、主として相対的に時価総額が小型の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第1期末(2026年2月18日)

基準価額	13,820円
純資産総額	2,949百万円
第1期	
騰落率	38.2%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

米国マイクロキャップ 株式ファンド

追加型投信/海外/株式

作成対象期間：2025年3月18日～2026年2月18日

交付運用報告書

第1期(決算日2026年2月18日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

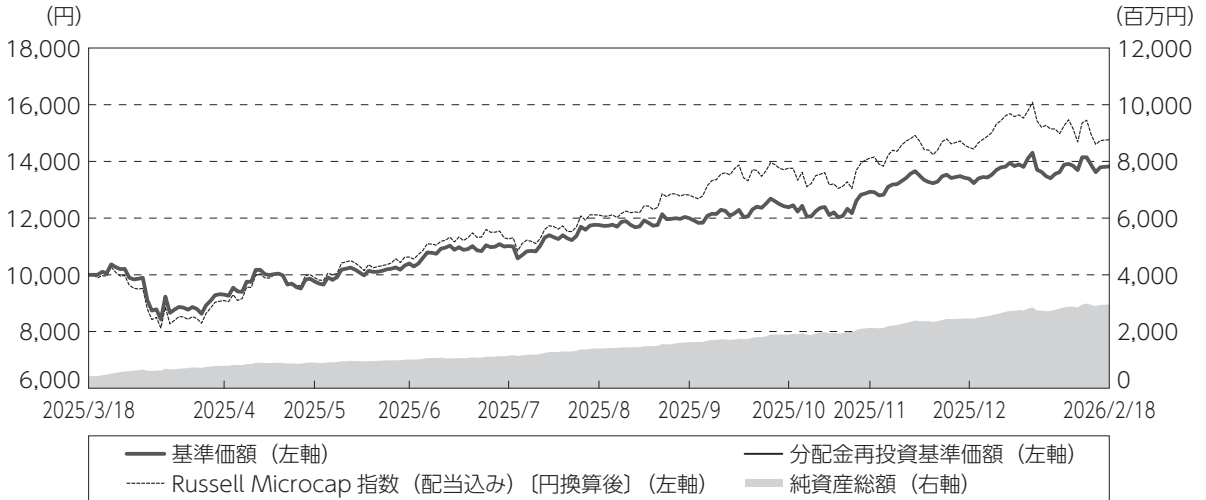
■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年3月18日～2026年2月18日)



設定日：10,000円

期末：13,820円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：38.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、Russell Microcap指数(配当込み) [円換算後] です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値を為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、後掲の<当ファンドの参考指数について>をご覧ください。(以下同じ。)
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日(2025年3月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。(以下同じ。)

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「米国マイクロキャップ株式マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス、資本財、エネルギーなどがプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄ではCECOエンバイロメンタル、ソラリス・エナジー・インフラストラクチャー、Dナウなどがプラスに寄与しました。
- ・為替(米ドル/円)の上昇(円安)がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では一般消費財・サービス流通・小売り、生活必需品流通・小売り、ソフトウェア・サービスなどがマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄ではグリッド・ダイナミクス・ホールディングス、アストラナ・ヘルス、オーソペディアトリックスなどがマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2025年3月18日～2026年2月18日)

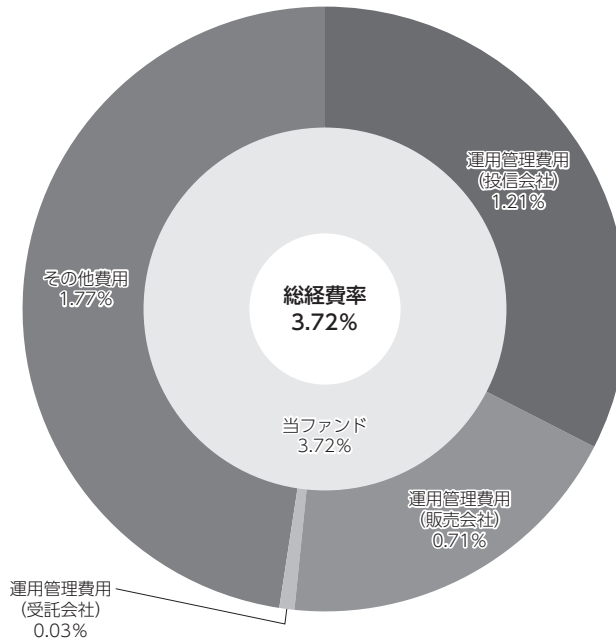
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	208 (129) (76) (4)	1.813 (1.120) (0.662) (0.031)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	20 (20)	0.178 (0.178)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	188 (186) (1) (0)	1.635 (1.622) (0.013) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	416	3.626	
期中の平均基準価額は、11,490円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

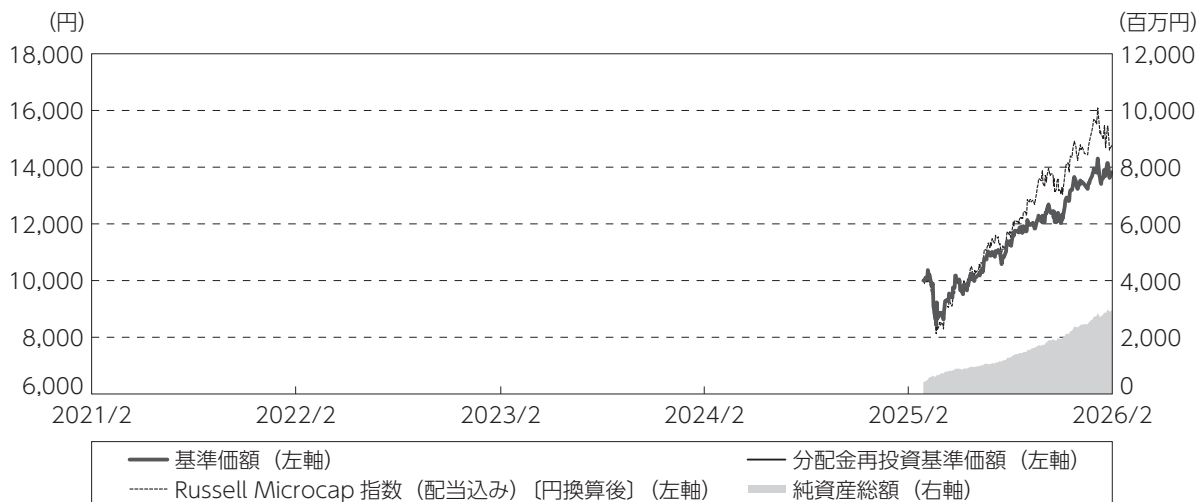
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年2月18日～2026年2月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) Russell Microcap 指数(配当込み)[円換算後]は当ファンドの参考指数です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日(2025年3月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2025年3月18日 設定日	2026年2月18日 決算日
基準価額 (円)	10,000	13,820
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	38.2
Russell Microcap 指数(配当込み) [円換算後]騰落率 (%)	—	47.6
純資産総額 (百万円)	426	2,949

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2026年2月18日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2025年3月18日～2026年2月18日)

米国株式市場は、設定日から2025年4月上旬にかけてはトランプ大統領の関税政策への懸念から株価は下落する展開となりました。しかし、4月中旬から5月にかけては、米政権が各国との通商交渉を重視する姿勢を示したことから、貿易摩擦への懸念が後退し、株価は戻りを試す展開となりました。その後、景気減速懸念や一部の米地方銀行の信用懸念から株価の調整が見られたものの、利下げ期待や企業決算が好調に推移するとの期待を背景に、上昇基調が10月にかけて続きました。11月から期末にかけては、テクノロジー企業を中心に株価の過熱感が意識される一方、好調な企業業績への期待感が下支えとなり、高値圏でもみ合う展開となりました。

為替（米ドル／円）は、設定日から2025年4月中旬にかけては、米国の景気悪化懸念が高まる中、日銀の追加利上げ観測が強まったことなどから下落しました。4月下旬から2026年1月中旬にかけては、インフレ圧力の高まりを背景に米金利が上昇したことや、米国が日本や欧州連合（EU）と関税交渉の合意に至ったことなどを背景に、米ドル／円の上昇基調が続きました。その後、中央銀行による為替介入の可能性が意識され、米ドル／円は期末にかけて下落する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月18日～2026年2月18日)

<米国マイクロキャップ株式ファンド>

「米国マイクロキャップ株式マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。

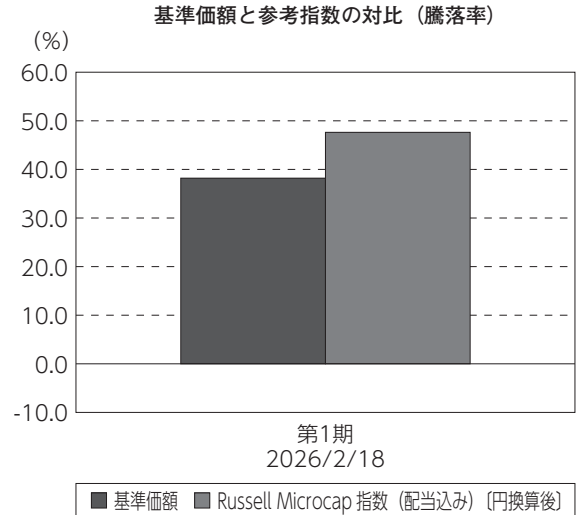
○米国マイクロキャップ株式マザーファンド

当マザーファンドでは、米国（一部カナダを含む場合があります。）の上場株式（これに準ずるものを含みます。）のうち、主として相対的に時価総額が小型の株式の中から、競争優位性、成長性、収益性の高さを兼ね備えたニッチな産業におけるリーダー企業に着目し、ボトムアップ・アプローチにより銘柄の選別を行いました。当期間中、個別銘柄では、CECOエンバイロメンタル、ソラリス・エナジー・インフラストラクチャー、センチュリ・ホールディングスなどを新規で組み入れ、アルガン、MDAスペース、OFGバンコプなどの全売却を実施しました。なお、組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月18日～2026年2月18日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、Russell Microcap 指数（配当込み）（円換算後）です。

分配金

(2025年3月18日～2026年2月18日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりいたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第 1 期
	2025年3月18日～ 2026年2月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,820

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

米国株式市場は底堅い展開を予想します。当面は利下げが期待しづらい点が相場の上値を抑える要因になると見られます。しかし、2026年の米国の企業業績は、トランプ減税が米国の景気を下支えする中で、関税引き上げの影響を受けた前年からの反動が加わり、前年よりも増益率が加速する見通しです。リスク要因としては、大幅に増加したA I投資の利益回収の遅れや、雇用市場が悪化する可能性などが挙げられます。

(運用方針)

<米国マイクロキャップ株式ファンド>

主要な投資対象である「米国マイクロキャップ株式マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。ただし、投資環境や資金動向等を勘案して、組入比率を引き下げる場合があります。

○米国マイクロキャップ株式マザーファンド

運用指図の権限の一部をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。運用にあたっては、米国（一部カナダを含む場合があります。）の上場株式（これに準ずるものを含みます。）のうち、主として相対的に時価総額が小型の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、競争優位性、成長性、収益性の高さを兼ね備えたニッチな産業におけるリーダー企業に着目し、ボトムアップ・アプローチにより銘柄を選別のうえ、長期的な成長の恩恵を享受することができる魅力的な投資機会の発掘を目指します。なお、組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り、原則として為替ヘッジを行いません。

お知らせ

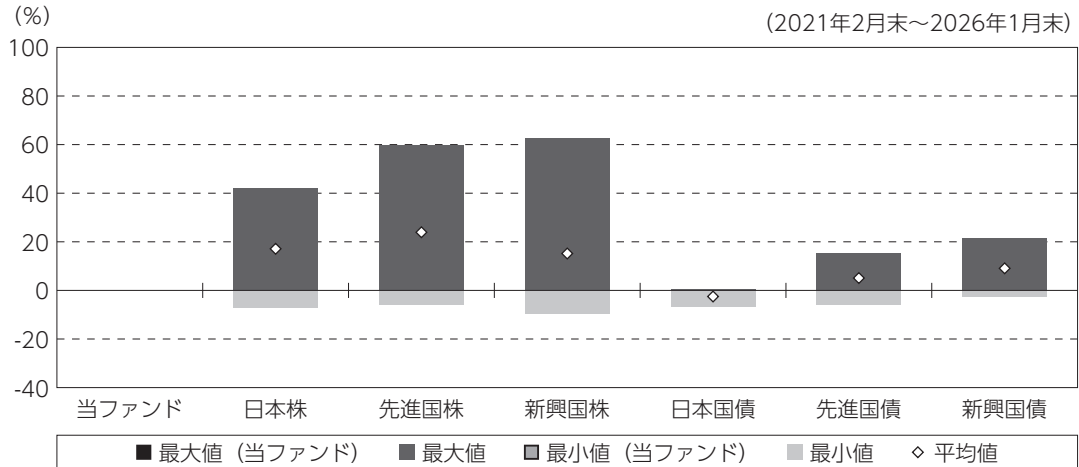
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年4月1日)
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2025年3月18日から2046年2月16日までです。	
運用方針	米国マイクロキャップ株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、米国（一部カナダを含む場合があります。）の上場株式（これに準ずるものを含みます。）のうち、主として相対的に時価総額が小型の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。マザーファンドにおける運用指図の権限の一部をウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	米国マイクロキャップ株式マザーファンド	米国（一部カナダを含む場合があります。）の上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	米国マイクロキャップ株式マザーファンド	株式への投資にあたっては、競争優位性、成長性、収益性の高さを兼ね備えたニッチな産業におけるリーダー企業に着目し、ボトムアップ・アプローチにより銘柄を選別します。 運用指図の権限の一部をウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。
分配方針	毎年2月18日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	-	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	-	17.1	23.9	15.2	△ 2.5	5.1	9.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年2月から2026年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載していません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

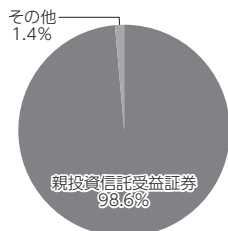
組入資産の内容

(2026年2月18日現在)

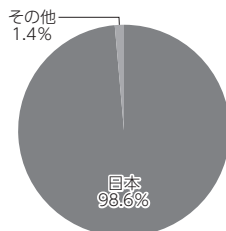
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第1期末
米国マイクロキャップ株式マザーファンド	98.6%
組入銘柄数	1銘柄

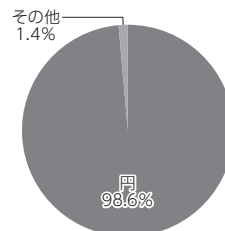
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

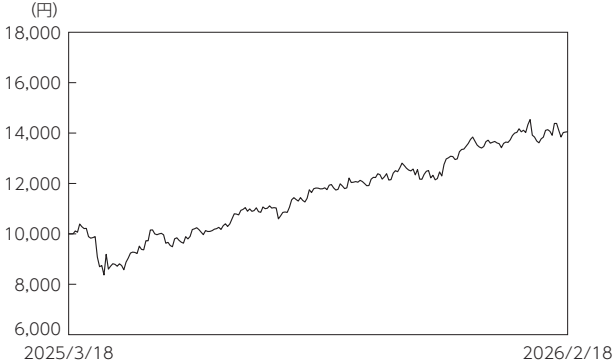
項 目	第1期末
	2026年2月18日
純資産総額	2,949,415,873円
受益権総口数	2,134,125,058口
1万口当たり基準価額	13,820円

(注) 当初設定元本額は426,643,557円、期中における追加設定元本額は1,986,343,659円、同解約元本額は278,862,158円です。

組入上位ファンドの概要

米国マイクロキャップ株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2025年3月18日～2026年2月18日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	21 (21)	0.180 (0.180)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	190 (190) (0)	1.644 (1.644) (0.001)
合 計	211	1.824

期中の平均基準価額は、11,559円です。

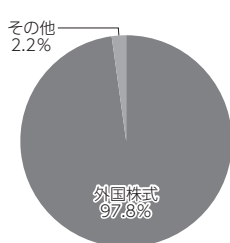
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

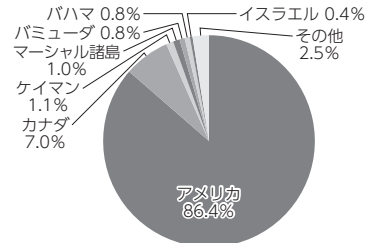
(2026年2月18日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 CENTURI HOLDINGS INC	資本財	米ドル	アメリカ	2.2%
2 CECO ENVIRONMENTAL CORP	商業・専門サービス	米ドル	アメリカ	2.2%
3 SOLARIS ENERGY INFRASTRUCTUR	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.2%
4 BENCHMARK ELECTRONICS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	2.1%
5 DNOW INC	資本財	米ドル	アメリカ	2.0%
6 AMERESCO INC-CL A	資本財	米ドル	アメリカ	2.0%
7 BLUE BIRD CORP	資本財	米ドル	アメリカ	1.9%
8 WISDOMTREE INC	金融サービス	米ドル	アメリカ	1.8%
9 ENCORE CAPITAL GROUP INC	金融サービス	米ドル	アメリカ	1.7%
10 SELECT WATER SOLUTIONS INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	1.7%
組入銘柄数	188銘柄			

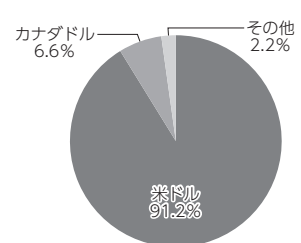
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

米国マイクロキャップ株式ファンド（以下、「当ファンド」といいます。）の開発は、S B I 岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社（以下、総称して「LSEグループ」といいます。）は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

Russell Microcap 指数（配当込み）（以下、「本指数」といいます。）にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE Russell[®]」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。

本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a) 本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または (b) 当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはS B I 岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいづれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。